



# 環境パフォーマンス

## 大豊工業のマテリアルバランス

単体

### 使用した資源量

#### エネルギー

電力……………71,212MWh  
 ガス燃料……………3,444㎥  
 液体燃料……………316kL

#### 資源

金属原材料……………28,610t  
 非金属原材料……………132t  
 水……………480,048m<sup>3</sup>

### 事業活動

研究  
開発

生産

輸送

#### 主なプロセス

・溶解→成形→加工  
 ・めっき  
 ・組付

社内循環資源……………2,954t

### 製品の出荷

#### 主な環境への排出量

CO<sub>2</sub>……………35,772 t  
 水質……………232,644m<sup>3</sup>  
 排出物……………10,596 t

## エネルギー課題への取り組み

### ●エネルギー購入量実績



エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネ法)に基づく熱量換算(GJ)から算出しています。法改正前の2009年度以前のデータについては、算出範囲が異なるため表示していません。

### ●CO<sub>2</sub>総排出量実績



当社が利用したエネルギーによって発生したCO<sub>2</sub>総排出量のうち、電力由来は約75%、ガス由来は約25%を占めています。

## 排出物抑制の取り組み

### ●主な原材料購入量実績



当社が事業活動で使用した金属原材料と非金属原材料の購入量実績から算出しています。内訳として、金属原材料では主にアルミ系材料、非金属原材料では樹脂コーティング材料です。

### ●排出物 総排出量実績



当社が発生させている排出物の89%が金属の廃材です。この金属の廃材は有価引取り物として、金属へ再資源化されます。また、11%は産業廃棄物であり、再利用される廃棄物は9%、処理を行い間接的に埋め立てする廃棄物は2%です。

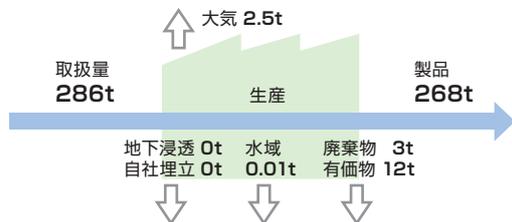
## 環境負荷物質量の状況

当社では、環境負荷物質の使用量、排出量、保管量などを、法令に基づいて監視、測定しています。ここでは、そのデータを公表します。

### ●PRTR法※1対象物質 取扱量



### ●PRTR法に基づく排出・移動量



※1 PRTR法…特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

## ●大気に関する測定結果

2012年度の測定において、規制値違反はありません。

### ■ばいじん、NOx

対象事業所	ばいじん (規制値:0.2g/m <sup>3</sup> N)	NOx (規制値:70~200ppm)
本社工場	<0.0003~0.0021g/m <sup>3</sup> N	28~36ppm
細谷工場	<0.0003~0.0028g/m <sup>3</sup> N	24~27ppm
幸海工場	<0.0003~<0.0004g/m <sup>3</sup> N	18~54ppm

各種装置ごとに測定した結果をまとめて表示しています

### ■ダイオキシン類

対象事業所	対象設備	測定結果 (規制値:5ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)
本社工場	アルミ集中溶解炉	0.00000078 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N

## ●土壌に関する測定結果

2012年度も土壌浄化の状況を把握するため、測定を行いました。敷地外へ流出しないよう、揚水等の対策を継続しています。

### ■トリクロロエチレン

対象事業所※2	地下水測定データ	回収量※3
本社工場	0.01未満~3.90ppm	188.58kg
細谷工場	0.01未満~0.34ppm	0.91kg

※2 上記以外の事業所では検出されていません

※3 回収量は官庁へ届出している社内の算出値

## ●有害物質に関する状況

### ■PCB含有機器保管量

法律で処理を要求されている高濃度PCB含有機器は全て処理が完了しています。

2013年3月時点では、下記台数を保管しています。

保管事業所	保管台数(いずれも低濃度)
本社工場	低圧コンデンサ 4台
細谷工場	低圧コンデンサ 3台

### ■水質汚濁防止法に基づく有害物質

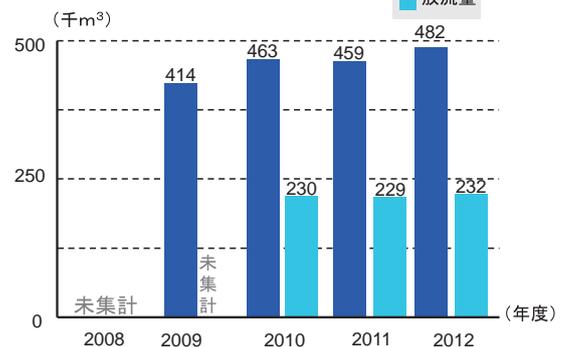
2012年6月の法改正により、保管等の基準が定められた有害物質を貯蔵・使用しています。

対象事業所	貯蔵・使用物質
本社工場	鉛及びその化合物
細谷工場	鉛、ほう素、ふっ素及びその化合物
篠原工場	硝酸化合物、六価クロム化合物

漏洩防止などの対策については P15 遵守状況報告

## 水資源の使用状況

### ●水使用量、放流量



放流量とは、当社内で使用された水のうち、当社で処理をして排出された水の量を意味します。

## 循環資源量の状況

### ●循環資源量の状況



循環資源量とは、当社内の不良・廃棄品を再生している物質量を意味しています。

不良・廃棄品の発生を抑制する活動効果と、生産品目の種類による差異があるため、全生産量とは比例しません。